これからの政治と選挙について

小林市代表　仲田　樹矢

近頃のニュースで「若者の政治離れ」という言葉をよく耳にする。選挙のたびに、二十代の投票率の低さがニュースになり、有識者がテレビでその理由を分析している。しかし、当事者である私たちの世代からすれば、「離れている」のは果たして若者の方なのだろうか、という疑問が常に付きまとう。むしろ、政治という巨大なシステムが、私たちの日常から遠ざかり、触れがたい場所へ行ってしまったように感じられるのが本音ではないだろうか。

今の政治や選挙について、自分が一番感じることは、身近ではないものへの近寄りがたさだと非常に感じます。なぜそう思ったのか、、、

私が初めて選挙に行ったのは、2024 年 10 月 27 日に行われた衆議院議員選挙でした。その時は、高校 3 年生になり、誕生日が 10 月 28 日だったため、誕生日を迎える前に選挙に行きました。その時の会場は、厳かな大人に囲まれ、鉛筆を握る手が震えそうなほど緊張しました。その時私は、パーカーのテニス着を着ていったのですが、こんな服で行っていいのかなんてことも考えました。そんな経験もあり、私の一番の印象は物理的にも心理的にも「怖くて面倒なもの」でした。

また、若者が政治に対して抱く感情の根底にあるのは、おそらく「無力感」と「諦め」でしょう。学歴詐称や、裏金問題などがニュースで報道されてもなお、同じ人が政権を握る。選挙期間になれば気持ちの良い言葉を並べてはできませんでしたの繰り返し。そのたびに、「政治は自分たちの生活を良くしてくれるものではなく、特権階級のパワーゲームだ」という冷めた見方が、私たちの世代に浸透してしまっています。

しかし、その一方で、私たちは決して政治に対して無関心なわけではありません。むしろ、今の社会が抱える歪みに対しては、どの世代よりも敏感でしょう。SNS を通じて、地球規模の環境問題や、ジェンダー平等、格差社会の不条理を日常的に目にしている。クラウドファンディングで共感するプロジェクトを支援したり、署名活動に参加したりすることは、今の若者にとってごく自然な「意思表示」です。つまり、私たちは「社会を良くしたい」という意欲は持っています。ただ、その出口が「選挙」への投票という形になっていないだけなのです。

では、これからの政治と選挙はどうあるべきか。まず求められるのは、政治と私たちの日常との「翻訳」でしょう。難しい法律用語や、感情的な批判の応酬ではなく、今の政策が十年後、二十年後の私たちの給与や住環境、あるいは子育ての環境にどう影響するのかを、具体的かつ誠実に示すプロセスが必要です。インターネット投票の導入といった技術的な利便

性向上も重要ですが、それ以上に、「自分の声が反映された」という小さな成功体験の積み重ねが不可欠である。

例えば、地域の身近な問題、公園の活用方法や通学路の安全性、奨学金制度の改善などについて、若者の意見が反映され、実際に街が変わる様子を目の当たりにできれば、政治は「他人事」から「自分事」へと変わるはずだ。政治家には、若者を「票の数」として見るのではなく、未来を共に作る「対等なパートナー」として対話する姿勢を持ってほしい。若者向けに分かりやすく政策を伝える工夫や、SNS を活用した双方向のコミュニケーションは、もはや政治の根幹であるべきだ。

そして、私たち若者の側も、意識を変えていく必要がある。一票の重さを「自分の利益のためだけ」と考えると、確かにその価値は小さく見えるかもしれない。しかし、その一票は、私たちがどのような社会に住みたいかという「意志」の表明である。投票に行かないということは、自分の未来の決定権を、自分とは価値観の異なる誰かに委任してしまうことと同じです。今の政治に不満があるのなら、どれだけ面倒くさくても、外に出たくなくても、その不満を「Youtube やインスタのコメント欄」に書くのではなく「数字」として示さなければならないんです。

確かに、一年や二年で社会が劇的に変わることはないと思います。それでも、私たちが選挙に足を運び、自らの意思を投じ続けることで、政治家たちの視線は少しずつ、次の世代へと向いていきます。若者の投票率が上がるという事実そのものが、政治に対する強力なプレッシャーとなり、無視できない力となります。

十年後の日本が、今より少しでも風通しがよく、多様な生き方が認められる社会であるために。私は、次の選挙でも一票を投じます。それは、見えない未来を自分たちの手で、より良くする最初の一歩であると信じているからです。私たちの世代が、冷笑を捨てて誠実に政治と向き合い始めたとき、これからの日本の政治と選挙は本当の意味で新しい形に進化するのではないでしょうか。

最後に一言、行ったことある人ならわかりますが、以外と投票は 1，2 分程度で終わります。Z 世代が好きな MBTI 性格診断より早いです。だからみんなまずは投票に行こう。
ちなみにわたしは ENFP です。